

東京大学地震研究所 平成28年度共同利用 研究集会「地球内部構造の観測・監視技術の未来」

日時 2017年3月13日(月)13:00~3月14日(火)12:40

場所 地震研究所 1号館 2階セミナー室

日付	セッション	時間	講演者	発表者所属	タイトル	
3月13日		13:00 - 13:05	0:05	渡辺俊樹	名大	趣旨説明
	火山	13:05 - 13:25	0:20	相澤広記(九大)・宇津木充(京大)・小山崇夫(東大地震研)・上嶋誠(東大地震研)・神田径(東工大)・長谷英彰(地熱技術)・吉村令慧(京大)・山崎健一(京大)・小川康雄(東工大)	九大	MT法による火山の比抵抗変動観測
		13:25 - 13:45	0:20	小山崇夫	地震研	伊豆大島ACTIVEモニタリング
		13:45 - 14:05	0:20	山岡耕春	名大	アクロスで捉えた桜島のマグマ貫入イベントに伴う伝達関数の変化
		14:05 - 14:25	0:20	小川康雄	東工大	草津白根火山の電磁アクロス探査計画
		14:25 - 14:40	0:15	南拓人(地震研)・小川康雄(東工大)	地震研	有限要素法を用いた電磁アクロスの数値モデリングー草津白根火山を例としてー
		14:40 - 14:55	0:15	國友孝洋	東濃地震研	超磁歪震源によるP波速度変化観測と間隙水圧との対応(電磁アクロス信号送信への応用)
		14:55 - 15:10	0:15	休憩		
	手法 連続観測	15:10 - 15:30	0:20	熊澤峰夫	名大	周波数コム技術としてのアクロスの将来活用検討
		15:30 - 15:50	0:20	辺見茂	JCEAM	1D1C水平印加交流電流による電磁誘導数値モデリング
		15:50 - 16:10	0:20	久保文男	JCEAM	DOWT波動解析理論の1C1D検証問題と活用ポテンシャル
		16:10 - 16:30	0:20	茂木透	北大工	空中物理探査の現状とこれから
		16:30 - 16:50	0:20	斎藤全史郎・小川康雄	東工大	MT法による地殻比抵抗変動観測
		16:50 - 17:10	0:20	山谷祐介(産総研)・茂木透(北大工)・浅沼宏(産総研)	産総研	MT法連続測定データの長期安定性評価
		17:10 - 17:30	0:20	新谷昌人	地震研	基線長1500mの大型レーザーひずみ計による地球内部活動のモニタリング
	17:30 - 18:00	0:30	討論			
	18:00 - 20:00	2:00	懇親会			
3月14日	防災 環境 資源	9:00 - 9:20	0:20	土井一生(京大防災研)・川方裕則(立命館大学工学部)・高橋直樹(三井住友建設株式会社)・中山雅之(立命館大学工学部)・岸田貴兆(SMCテック株式会社)	京大防災研	能動震源による表層崩壊・地すべりのモニタリングー水槽実験と現地観測ー
		9:20 - 9:40	0:20	高倉伸一	産総研	電気探査モニタリングー斜面防災と地熱貯留層管理への適用
		9:40 - 10:00	0:20	海江田秀志	電中研/東工大	地熱貯留層の物理探査によるモニタリング
		10:00 - 10:20	0:20	中島崇裕・薛自求	RITE	繰り返し検層によるCO2貯留状態のモニタリング
		10:20 - 10:40	0:20	辻健	九大	貯留層マネージメントに向けたアクロスの利用
		10:40 - 10:55	0:15	休憩		
	弾性波 地下構造 地下変化	10:55 - 11:15	0:20	國友孝洋	名大/東濃地震研	弾性波アクロスによるクラックと地下水挙動のモニタリング
		11:15 - 11:35	0:20	生田領野	静大	アクロスによる淡路島野島断層の長期地震波速度変化モニタリング
		11:35 - 11:55	0:20	辻修平	名大	森町アクロスを用いた地震波伝播速度の経年変化及び地震に伴う変化の検出
		11:55 - 12:10	0:15	竹内希	地震研	地震波エンベロープを用いた減衰構造推定
	12:10 - 12:40	0:30	討論			